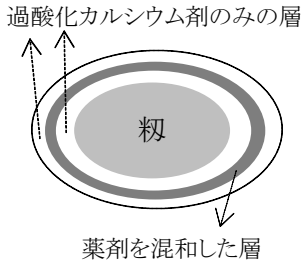


事項	<p>水稻の湛水直播栽培で種籾を過酸化カルシウム剤（カルパー粉粒剤16）でコーティングする際に、殺虫剤を同時湿粉衣するとイネミズゾウムシを省力的に防除できる</p>		
ねらい	<p>水稻の湛水直播栽培では、移植栽培で用いられる育苗箱施用剤のような簡便な防除方法がなかったが、種籾を過酸化カルシウム剤でコーティングする際、殺虫剤の水和剤粉末を同時に湿粉衣することで、省力的にイネミズゾウムシを防除できることを確認したので、防除対策上の参考に供する。</p>		
指導参考内容	<p>1 使用方法 (1) 高精度自動コーティングマシンを使用する場合 全工程の1/3が経過した頃（等倍でのコーティングの場合、コーティング処理開始5分後頃）に、回転中のドラム内に所定量の水和剤を少しずつ速やかに投入する。なお、処理時間はコーティングマシンに規定された時間どおりとし、薬剤の追加投入による時間変更は必要ない。 (2) コーティングマシンを使用する場合 ア コーティング処理に必要な過酸化カルシウム剤を3つに小分けし、内1つに所定量の水和剤を入れ攪拌、混合したものを作成する。 イ 最初に過酸化カルシウム剤を粉衣し、次に前述の混合剤を粉衣、最後に再び過酸化カルシウム剤を粉衣する。</p> <p>2 処理後のコーティング種子 いずれの場合も処理後は右図のように、水和剤の混和層が籾側と最外側層の間になる。</p> <p>3 使用薬剤および使用量 現在、この方法で使用できる薬剤はアドマイヤー水和剤の登録があり、その使用量は種もみ3kg当り200gである。</p> <div style="text-align: center;">  <p>過酸化カルシウム剤のみの層</p> <p>籾</p> <p>薬剤を混和した層</p> </div> <p>図 コーティング種子の模式図</p>		
期待される効果	<p>イネミズゾウムシ常発地での湛水直播栽培において、安定生産が期待される。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 本剤を直接籾に処理すると薬害を生じる恐れがある。 2 薬剤投入時に薬剤が飛散するので、吸引を防ぐため防塵マスクやゴーグルを着用する。 3 本資料は平成25年3月1日現在の農業登録内容に基づいて作成した。 4 農業を使用する場合は、必ず最新の「農業登録情報検索システム」(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)を確認すること。</p>		
問い合わせ先 (電話番号)	農林総合研究所 病虫部 (0172-52-4314)	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成24年度 試験成績概要集（農林総合研究所）</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 イネミズゾウムシの茎葉被害に対するアドマイヤー水和剤の防除効果(平成24年 青森農林総研)

区名	6月8日			6月14日		
	成虫数 (頭/m ²)	被害葉率 (%)	対無処理比	成虫数 (頭/m ²)	被害葉率 (%)	対無処理比
処理区	0.4	0.5	12	4.4	3.0	21
無処理区	0	4.0	100	2.2	14.2	100

(続き)

区名	6月22日			6月29日		
	成虫数 (頭/m ²)	被害葉率 (%)	対無処理比	成虫数 (頭/m ²)	被害葉率 (%)	対無処理比
処理区	1.5	6.1	38	0	5.0	49
無処理区	1.9	16.2	100	1.5	10.2	100

- (注) 1 処理日、処理方法:平成24年5月8日に乾燥種粒重と同量の過酸化カルシウム剤とアドマイヤー水和剤を高精度自動コーティングマシン(初田工業社HCT200)を用いて同時湿粉衣
 2 試験場所:農林総研D5①~⑥圃場 1区115m²(5×23m)
 3 播種日:平成24年5月11日 条播機で10aあたり5kg播種 水管理:平成24年5月25日に湛水
 4 発生状況:少発生(6月12日に各調査地点あたり20頭放虫)
 5 調査区:両区とも1ほ場あたり1か所、それぞれ計3か所調査地点を設置し、1か所あたり3m(0.9m²)を調査
 6 成虫、被害葉率調査:6月8日、14日、22日、29日に、成虫数及び被害葉数を調査、数値はいずれも3反復の平均値

表2 イネミズゾウムシの根部被害に対するアドマイヤー水和剤の防除効果(平成24年 青森農林総研)

区名	根部寄生虫数(5か所の合計)						対無処理比	葉害
	若齢	中齢	老齢	幼虫計	土まゆ (蛹)	幼虫と蛹の合計		
処理区	0	0	0.3	0.3	0.3	0.6	2	なし
無処理区	3.7	6.0	19.3	29.0	2.3	31.3	100	

- (注) 1 調査区:表1と同様
 2 根部寄生幼虫・蛹数調査:7月17日に直径14cmの株抜き機で1調査地点あたり5か所を掘り取り、根部に寄生している幼虫及び土まゆ(蛹)数を調査、数値はいずれも3調査区の平均値

(参考)

アドマイヤー水和剤 100g入り1袋 約890円、10 a 当たり5kg播種で約2,966円